

会 報

＜第359号＞

次代を築くヒューマンネットワーク

一般社団法人兵庫県建築会



発行日:平成27年9月1日

- 目次 ◎ ご挨拶 『夢と浪漫をいだいて』 副会長 石田 邦夫 …… 1～2 頁
◎ 『加古川市立総合体育館及び加古川運動公園陸上競技場のPFI事業の運営について』
神鋼不動産(株) プロパティマネジメント事業部 加古川支店長 安田 英俊 氏
…………… 3～4 頁
◎ お知らせ、広報コーナー(大阪ガス(株)) …… 5～7 頁
◎ 『PPP/PFIの実態と今後の展開』
(株)日本経済研究所 吉田 育代 氏 …… 特別編(別冊)

ご 挨 拶 『夢と浪漫をいだいて』

副会長 石田 邦夫

毎年同じ言葉を繰り返すことになってしまいますが、今年も残暑がひととき厳しいですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。



石田邦夫副会長

今年は戦後70年という節目の年ですが、兵庫県建築会発足の原点は70年前の戦災からの復興にあります。そして、建築に係わるあらゆる業種の人達のヒューマンネットワークが連綿と機能し続けてきた結果、20年前の阪神・淡路大震災からの創造的復興に大いに役立ったと自負しております。

会員間の個人的な交流がヒューマンネットワーク作りの基本と考え、会員交流を推進する手段として、ジャンルを問わず各界の専門家の先生をお招きしてお話を聞く月例会を開催して、有意義なお話を聞きリラックスした雰囲気の中で食事を楽しんでいただいております。又、秋に開催しております見学研修会や海外研修旅行では、月例会とは違った雰囲気の濃密な交流が生まれる機会を作り出しております。今年の見学研修会も詳細が決まり次第ご案内をさせていただきますので大勢の方の参加をお待ちしております。

さて、これからは私の極めてマイナーな旅の話させていただきます。この旅を思い立ったのは、新聞に掲載された紀行文を読んだからです。その紀行文とは8年前の日経新聞の夕刊に15回連載された『還暦カミーノ・スペイン巡礼記』で

す。私と同じ団塊世代の還暦を迎えた記者が、エルサレム、ローマと並ぶカトリックの三大聖地の一つサンティアゴ・デ・コンポステーラをめざして、約800キロメートルの道のりを歩いた紀行文でした。

(注記) カミーノ Camino はスペイン語で「道」を意味します。

サンティアゴはスペイン語で「聖ヤコブ」を意味し、英語では「セントジェームス」フランス語では「サンジャック」です。

コンポステーラは「星降る野原」を意味するとされています。

スペインの北西端に位置するサンティアゴ・デ・コンポステーラは、キリストの十二使徒のひとり、聖ヤコブの亡骸が眠る地です。聖ヤコブ信仰は、スペイン全土のキリスト教徒の間に広まり、イベリア半島のイスラム勢力に対するレコンキスタ(国土回復運動)の精神的な支柱となったのです。

11世紀になってからは、聖地も巡礼路も整備されていき、他のヨーロッパ諸国からも、サンティアゴ(聖ヤコブ)の象徴とされるホタテ貝を身に着け、頭陀袋を背負い、水筒代わりの瓢箪と杖を手にした巡礼者が聖地への道をたどったのです。

最盛期の12世紀には年間50万人を数える巡礼者がこの聖地を目指したそうです。



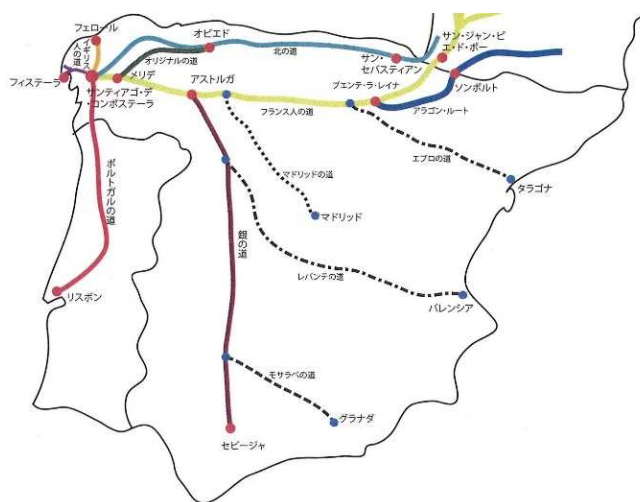
麦畑の大地を
貫く巡礼路

しかし、14～15世紀の英仏百年戦争や16世紀の宗教改革、そしてペストの大流行などで下火になってしまい19世紀にはほとんど消滅してしまいました。しかし、20世紀の終盤になって一人の神父が聖地に向かう道しるべの整備を始めた事に端を発して、再び巡礼路が復活したのです。

国籍や、性別も、年齢も違う多くの巡礼たちがサンティアゴ・デ・コンポステーラを目指して歩く道は多くのルートがありますが、その中の最も整備されポピュラーなルートが、1993年に世界遺産にも登録されたフランス人の道です。

このフランス人の道は別名『ロマネスクの道』とも言われており、巡礼路沿いの村々には、11～12世紀にかけて建設されたロマネスク様式の教会や修道院がひっそりと残っています。手近にある不揃いな石材を使った重厚な石造りで壁は厚く、窓は小さく、天井は丸いボールドで覆われています。そして、教会入口のタンパンや柱頭などに聖書に書かれた物語を表現した彫刻が施されており、この彫刻は稚拙ですが素朴で味わい深いおもむきを醸し出しています。祈りを石に滲み込ませたような質素な教会がたたずむ様子に、どこか日本人の美的感覚にも通じた「わび・さび」を感じるのは私一人だけではないと思います。

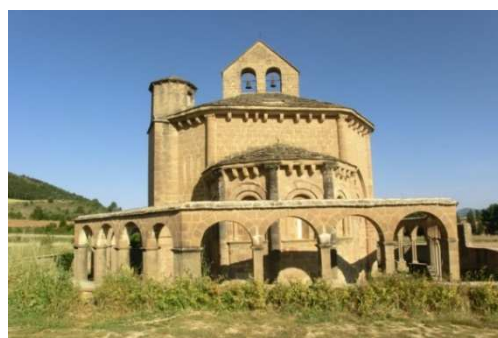
かつてナポレオンは「ピレネーを越えたら、そこはアフリカだ」と言いました。そのピレネー山脈のフランス側ふもとに、サン・ジャン・ピエ・ドゥ・ポーという小さな村があります。5月から7月にかけて『ロマネスクの道』775kmを歩きましたが、この旅の始めは『還暦カミーノ・スペイン巡礼記』に倣って、この小さな国境の村を出発地にしました。ピレネーを越え西に向かって延びる『ロマネスクの道』を、サンティアゴ・デ・コンポステーラまで歩きながら、大いなる存在に縋らざるを得なかった当時の人々が造り上げた教会や修道院を見てきました。



イベリア半島にあるさまざまなルート



サン・ファン・デ・オルテガ修道院：受胎告知
(春分の日と秋分の日、窓からの一筋の光がこの柱頭を照らし、光の奇跡と呼ばれている)



サンタ・マリア・デ・エウナテ墳墓教会
(行き倒れた巡礼者を葬った場所)



サンティアゴ・デ・コンポステーラ大聖堂前にて：筆者

◎ 事務局より

『夢と浪漫をいだいて』のスペイン巡礼の旅は、平成28年2月18日(木)の月例会において石田副会長から講演をいただきます。

会 員 寄 稿

『加古川市立総合体育館及び加古川運動公園陸上競技場のPFI事業の運営について』

神鋼不動産株式会社プロパティマネジメント事業部
加古川支店長 安田 英俊

1. はじめに

本施設は、(株)神戸製鋼所と鹿島建設(株)を出資者とする(株)加古川運動公園市民スポーツサービス(SPC)から当社が委託を受け、平成17年4月から20年間の維持管理および運営を行っており、今年で11年目を迎えました。総合体育館へは、提案時の18万5千人を大きく上回る30万人以上が来館してくれるようになりました。

運営にあたっては、市民が平等に使用できる公共施設として、また、市民に親しまれ、安全かつ安心して使用できる信頼された施設となることを心がけて運営してきました。

施設の概要

施設名	総合体育館	陸上競技場
敷地面積(㎡)	34,900	47,000
建築面積(㎡)	7,200	3,085
延床面積(㎡)	10,100	-
収容観客数(人)	約2,300	約15,300
施設使用者数(千人)※	128	142
来館者数(千人)※	321	-

注) 人数は平成26年度実績



加古川市立総合体育館(事務局撮影)

2. 事業の概要について

本PFI事業は、BTO方式(注1)として、平成14年12月に事業契約を締結しました。維持管理運営費は20年間で43億円、建設費40億円の総額83億円です。

加古川市立総合体育館の完成後、加古川市への施設の引き渡しを行い、既設の陸上競技場と合わせて、平成17年4月から20年間の管理運営を始めました。

事業のスキームは次ページの図の通りです。

3. 施設の活用促進について

「みる、する、ささえるスポーツ」の拠点として、幼児が、原っぱや遊戯室で遊び、学校に入ってからクラブ活動や社会人になってもスポーツと親しみ、トップアスリートのプレーを見、世代を超えて集い、楽しむ施設の運営を行っております。

(1) ソフト面で取り組んできたこと

自主事業として、平成18年より毎年、バレーボールのV・プレミアリーグ女子加古川大会を開催し、2,500名以上の観客がプレーを楽しみ、多くのボランティアが大会運営を支えています。

また、加古川市や各団体と連携し、タッチラグビー加古川大会、中学生のバレーボール部員を対象としたJTバレーボール教室(10校193名参加)、

小学生のジュニアバレーボール大会(20チームが参加)などの自ら楽しむイベントを開催しています。



(平成26年度 V・プレミアリーグ女子加古川大会)

さらに、世代間交流のニュースポーツとしてカローリング教室を開催し、毎週30名が参加。年に1回は他府県からの参加も募り24~36チームが参加する大会を開催しています。

スポーツ以外の取り組みとしては、利用率の低い時間帯、場所を活用してフラダンス、フラメンコ、フラワーアレンジメント、キッズダンスなどの教室を開催しています。

また、施設の運営にアドバイスをしてもらえよう、加古川市、学識経験者、地元自治会、スポーツ団体の代表から構成される「活性化委員会」を年2回開催し、改善に努めています。

さらに、地元住民と一緒にやっている清掃活動、市民クラブルーム(年200回以上、2,000名以上が利用)の開放などにより地域に根差した運営を心がけています。



カローリング

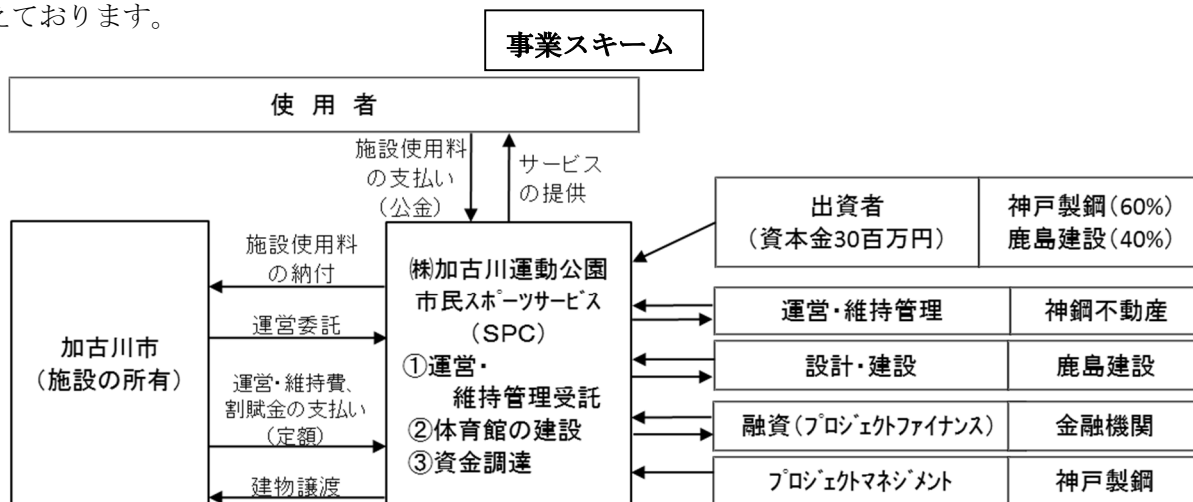
(2) ハード面で取り組んできたこと

設計段階でエアボリュームを押さえたコンパクトな設計、自然通風、自然採光、雨水の利用等を行い、光熱水費の削減を図るとともに、環境に配慮した施設の運営に取り組んできました。

また、市との連携により、長期にわたる修繕計画に基づく修繕工事の実施と日常の維持管理により開館当初に近い施設環境が維持できていると考えております。平成26年度には10年目の大規模修繕工事を実施していただきました。今後とも、快適な空間が維持できるようにしていきたいと考えております。

4. おわりに

20年の期間に対して10年目の折返し点が過ぎ、築き上げてきたネットワークを更に発展させ、ニーズの変化に柔軟に対応して、道半ばであるスポーツのメッカとしての施設、文化教室の充実による市民活動の拠点づくりを目指していきたいと考えております。子供の頃に親しんだ施設を次の世代に引き継ぐ、そのような施設でありたいと考えております。



(注1) PFI事業におけるBTO方式とは

- ① PFI事業者は、施設を建設し、施設完成時に施設を市へ譲渡し、代金を割賦で回収する。
(BOT方式ではPFI期間終了時に市へ施設を原則無償譲渡)
- ② PFI事業者はPFI期間中施設の維持管理を行う。
(大規模修繕は別途市がPFI事業者へ発注する場合が多い)
- ③ 市民が納入する施設使用料は、一旦PFI事業者が代理受領し、市へ引き渡す。
市は、PFI事業者へ施設の割賦料と維持管理、運営の委託料を支払う。

平成14年10月17日兵庫県建築会
PFIセミナー資料より

加古川市総合体育館を見学して（事務局より）

○企画段階でのPFIの導入に期待する効果として、下記の理由を挙げ、民間事業者への運営委託によりで総合体育館の活用促進を図ることとしていた。（平成14年10月17日兵庫県建築会PFIセミナー資料より）

- ① スポーツ施設の運営管理を民間会社へ委託している事例が多くあること
- ② 公共団体主催の体育イベントの企画立案から実行までを民間会社へ委託している事例もあること
- ③ 運動施設の活用ノウハウを持つ民間会社が存在すること

○OSPCから神鋼不動産（プロパティマネジメント事業部加古川支店）が管理運営を受託し、支店と現場の人員の効率的配置等により、経費の節減に結びついていると思われる。

ゼネラルマネージャーは、神鋼グループのバレーボール実業団経験者で、体育館中核スポーツとマッチングし、加えて神鋼Gのスポーツ界での豊富な人材が体育館、陸上競技場の運営に大いに寄与している。また、スポーツ界における神鋼Gの貢献により、V・プレミアムリーグの誘致や元全日本選手によるバレーボール教室の誘致開催等にその力が発揮され、利用人員の増に結びついている。さらに、系列のメンテ会社による清掃は徹底しており、床は鏡面の如くで、なかには靴を脱いで入ろうとする来客もあるようだ。

企画段階で期待された効果は、本PFI事業の展開により十分発揮していると感じられた。

建築会のPFI事業への関わりと ご寄稿の御礼

兵庫県建築会におきましては、兵庫県、県内市町及び関係団体のご後援により、平成14年10月17日に会員、官公庁職員、関係団体約160名の参加により、「社団法人兵庫県建築会PFIセミナー」を開催いたしました。当時は、PFI制度が施行されて3年を経過した時点で、特定非営利法人日本PFI協会から講師をお招きし、『PFIと美しい公共サービス』の講演をいただきました。

さらに、県内で取り組み中のPFI事業

- 1 神戸市：宿泊施設摩耶ロッジ
- 2 加古川市：体育施設
- 3 八鹿町（現養父町）：温泉施設

の事例報告をいただき、PFI事業研究と活用の機運づくりに大いに貢献をいたしました。

この度、セミナー開始から10年余経過する中で、元兵庫県まちづくり部長で一般財団法人首都圏不燃建築公社理事長（平成27年5月当時：

（株）日本経済研究所理事）の田中裕司様にご配慮を賜り、同上席研究員吉田育代様から『PPP/PFIの実態と今後の展開』について、ご寄稿（特別編に掲載）をいただくことができました。

また、当会会員の神鋼不動産（株）加古川支店長の安田英俊様からは、セミナーにおいて事例発表のありました加古川市立総合体育館の運営・管理会社として、その運営状況のご報告（本編掲載）をいただくことができました。

ご多忙のところを兵庫県建築会の活動にご理解いただき誠にありがとうございました。

兵庫県内では、県及び10市町において27事業が展開され、全国的にも先進的な取り組みがされています。さらに兵庫県におかれては、平成23年の「PFI法の改正」によるPPP方式（Public-Private Partnership）への拡充に伴い、空港運営事業に適用し制度の積極的活用にも努められています。

今後も、兵庫県建築会としましては、このような有意義な制度の普及、啓発に資するよう、月例会・セミナー等の開催や会報の発行を通じ、会員の研鑽の場づくりとともに兵庫県及び市町施策に協力をしてまいりたいと考えています。

今後とも当会へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成27年9月1日

一般社団法人兵庫県建築会

お知らせ

◎ 行事ご案内

① 第441回月例会兼建築会セミナー

・・・参加者募集中

テーマ：「人あまりから人不足社会への転換と人材育成の課題」

講師：開本 浩矢氏

兵庫県立大学 経営学部長

日時：9月10日（木）12時～14時

会場：神戸三宮東急REIホテル

企業における人材の育成方法について、事例を紹介しながらわかりやすく解説いただけます。

② 第442回月例会・・・参加者募集中

テーマ：須磨学「武庫離宮100年と別荘文化」

講師：小林 善彦氏

NPO法人須磨歴史倶楽部理事長

日時：10月15日（木）12時～14時

会場：西村屋和味旬彩

意外と知られていない、近代別荘文化発祥の地“須磨”の歴史が紹介されます。

③ 見学研修会（兼第443回月例会）

日時：11月5日（木）8：45出発

見学先：①大阪ガス ハグミュージアム
（大阪市西区）

②正倉院展（奈良市）

③東大寺、春日大社

新装なった大阪ガスショールームと正倉院展、式年遷宮の春日大社を核に見学します。

④ 第151回研修交流会

（建築会ゴルフコンペ）・・・参加者募集中

日時：10月22日（木）

アウト 9：03～ 4組

会場：六甲国際ゴルフ倶楽部

⑤ 平成28年日程

1 新春会員交流会（兼第444回月例会）

日時：平成28年1月14日（木）17：30～

会場：神戸三宮東急REIホテル

2 第445回月例会

テーマ：（仮題）夢と浪漫をいだいて
～スペイン巡礼の旅～

講師：石田邦夫副会長

日時：平成28年2月18日（木）12：00～

会場：西村屋和味旬彩

3 第446回月例会

テーマ：異文化コミュニケーション

講師：黒田高之氏（（株）リンク グローバル
ソリューション シニアコンサルタント）

日時：平成28年3月10日（木）12：00～

会場：神戸三宮東急REIホテル

◎ 会員の動向

① 事務所移転のお知らせ

会長の（株）瀬戸本淳建築研究室が次に移転しました。（27.8.24）

〒650-0024

神戸市中央区海岸通2丁目2-3

S A N E I B l d g 6 F

☎078-333-0138 F A X 078-333-0238

（いずれも以前と変更なし）

② 棚田 肇副会長のご容態

当会副会長の棚田 肇氏には、7月中頃から病氣治療中で皆様にはご心配をおかけしています。

このたび、リハビリセンターへ移られ復帰に向けリハビリに励まれておられます。今暫く療養に専念されますが、早期のご回復をお祈りいたします。

◎ 事務局便り

〇ツクツクボウシと温暖化

酷暑の夏もようやく終わりが近づき、クマゼミからツクツクボウシの季節となり、その声に少しほっとした気分です。皆様には夏バテはございませんでしたか。

子供のころは、ツクツクボウシを聞くと何か虚しい気分が襲ってきました。要するに夏休みが終わるという意識からです。

そのツクツクボウシは、実際は7月から発生しているようですが、数も少なく他のセミの声に消されていたのが、8月下旬になると他のセミが少なくなり、鳴き声が際立ってくるとのことです。神戸市北区の住宅地では、入居したころはヒグラシが高原の涼やかさを醸し出してくれ、クマゼミの声は聞いたことがなかったと記憶します。今は公園に行くとうるさい位に発生しており、その分ヒグラシの声が少なくなっているような気がします。

また、クマゼミは少し前までは関東にはいなかったようですが、今は普通に生息し、ツクツクボウシにしても、寒さに弱いのが北上して、盛岡、仙台においても増えていると聞きます。これらは、いずれも温暖化の影響であるとも考えられます。サンゴの北上も新聞に出ていました。台風も早くから遅くまで。子供、孫たちの時代はどうなるんでしょうね。住みにくいを通り越して住めないとはなっていないと思いますが、ネットのニュースでは“今後100～200年で100センチの海面上昇とNASAの科学者チームが発表”とありました。そのとおりなら、南太平洋の島国ツバルだけでなく、本当に住めないところが出てきますね。

ところで、9月に入って早々に、“行く夏を惜しむ”の遅めの暑気払いの会が連日入りました。単に飲む理屈付けだけの話ですが。

〇プレミアム券と断シャリ

8月17日盆明け月曜日の朝7時過ぎ、自宅近くのスーパーに寄ると、警備員が整理中で、何かと聞けば、神戸市プレミアム券の発売とのことでした。5万円分購入で1万円分が加算され、販売開始は10時のため3時間も並ぶことになります。とても無理なので、仕事へ向かいましたが、8時前の事務所前そごう西神店では建物を囲むような長蛇の行列がありました。

いやはやご苦労様と、職場でその話をしている、突如、前から欲しかった事務用品、「二人の分を合わせるとシュレッダーが買える！」となり、遅まきながら10時に取敢えず行列に参加することにしました。しかしながら、「この辺はもう無理です。」との連れな整理員のご託宣により、結局無駄足に終わりました。

全国的な運営方法なのでしょうが、何か納得できないところが残りました。

先ず、他団体では一人10万円のところもあるのが、神戸では5万円。高額性の是非やら、人口の多い市では、できるだけ多くの市民に当たるようにとの配慮とも考えられますが。（3万、2万という市もあるようです。）それと、販売システム。一人での多額購入の問題もありましたが、早朝から並ばないと購入しづらかったことです。普通の勤め人はまず無理、療養中あるいは看護や介護等の従事者への配慮はどうでしょうか。子育て世帯には優先購入の申込みができたようです。

次回（あるかどうか）はもう少し公平性に留意してもらいたいと思いますが、ひょっとしたら間もなく施行のマイナンバーが役に立つかも知れません。

…と、ぼやきみたいなことで失礼しました。実は、かくいう私は別口で恩恵を受けられました。それは、前号等で広告掲載いただいた『ひょうごふるさと館』の「兵庫県特産品お買物20%ポイント還元」で、まさにプレミアム券に同じ制度での割引であったようです。広告のお礼もありお中元に御礼の品にと使わせてもらい、これでは恩恵を受けました。（還元は8月末で終了しています。）広告のお蔭でした。

因みに、今月号も掲出いただいている広告も内容をよく聞いてみたいと思います。

残念なのはシュレッダー。不用書類の整理に躍起になっていますが、まだ個人情報に関わる書類が相当残っており、間もなくマイナンバー施行によりその必要性は増すのは確実なのですが。求不用品。

事務局：谷 純夫、石井滝実子

電話：078-996-2851

FAX：078-996-2852

Email：archit-k@axel.ocn.ne.jp

大阪ガス

兵庫県建築会 会員の皆様への 特別なお案内

限定
5名様

申込締切:2015年9月30日(水)まで

給湯器の調子が悪い、老朽化しているなどの状況で
取替をご検討の方がおられましたら、是非ご連絡下さい。
特別価格でご提供いたします。詳しくは下記まで!!
(※但し自家用に限ります。)

最適な
機種をご提案
します!!

工事会社を
ご紹介
いたします!!

この機会に
お見積りだけ
でもどうぞ!!

給湯器のお取替えは、工事の手が空いている夏場がおすすめ!!



担当者(平井)から一言

本音を申しますと、1台でもビジネスに近づけたいと申しますか、エネファームが売れてほしいというところですが、これまで、設計事務所様のご自宅をはじめ関係者のお宅に、エネファームだけでなくエコジョーズ(高効率型給湯暖房機)、ファンヒーターなど毎年たくさんの方にご購入いただいております。大変感謝しております。

特に家庭用燃料電池“エネファーム”は、戸建住宅4人家族で従来のガス設備の住宅に比べ、年間7万円から8万円の光熱費削減ができる試算結果が出ております。今年は、既築住宅では35万円の補助金もございます。

使用状況によりますがエネルギー消費が多い住宅では十分なメリットが期待できますというか元が取れるとします。平井が責任を持って対応させていただきます。ご検討よろしく願いいたします。

▶ まずは平井までお気軽にご連絡ください

大阪ガス(株) 法人第2営業部 兵庫営業チーム

TEL:078-360-3024 携帯:080-2413-8973

担当 **平井**